



**会長就任の御挨拶**

**長崎県技術士会会長 山口 和登**

平成23年5月27日の長崎県技術士会定期総会において犬東前会長の後任として新会長に選任され、その責任の重さを痛感している次第であります。犬東前会長は20年以上の長期にわたり会長を務めてこられ、県技術士会の発展に多大の貢献をされたことは皆様周知のことと存じます。

ここで、県技術士会の歴史を簡単に振り返りますと、昭和50年代の初めに黒瀬さん、野々下さん(故人)、柏原さん、吉田さんが長崎県技術士会を立ち上げられたと聞いております。それから計算すると今年で35年位になります。私が入会した平成3年頃は会員数が20名前後だったと記憶しておりますが、今や会員数は130名以上の大所帯となりました。約20年で110名、毎年5~6名増えたこととなります。立ち上げから15年位で20名だったのに比べ大きな増加であり、これもひとえに犬東前会長をはじめに諸先輩のご努力の結果と思います。県技術士会の歴史については特に草創期の歴史がはっきりしませんので、古くからの会員であられる柏原さんや吉田さんに伺って、また資料等を調べて後日会報で報告したいと思えます。

今回の役員改選に伴い、県技術士会の役員人事の変更を行いました。変更の大きな目的は会員の増強を図ることを念頭に置きました。このため、犬東前会長には顧問として役員に残っていただき、副会長には県農林部出身の毎熊さん(農業)に副会長として新たに就任していただきました。また、会員数の多い長崎市役所出身の久原さん(水産)、三菱重工出身の松尾さん(電気電子)も新たに理事に就任していただきました。日本技術士会九州支部(今年の7月から九州本部に名称変更)の長崎地区代表幹事である大橋さん(建設・総監)にも新たに理事として県技術士会の役員に就任していただきました。県土木部出身の松永さん(建設・総監)、小松さん(建設・総監)、現役の建設コンサルタント会社の役員である桐原さん(建設)、長崎県建設技術研究センターの西村さん(建設)には理事として、三菱重工出身の本田さん(機械)、川村さん(建設・総監)には監事として役員を留任していただきました。

以上の様に現状においては多部門、多方面にわたり最も強力であろうと考えられる役員体制としました。この体制で前述しました会員の増強、更には県技術士会の魅力ある発展を目指します。具体的には①現在の会員数131名をさしあたり150名まで伸ばす。②独自

の活動のみならず長崎大学や他学会との連携を強化し、CPDの機会を更に増やす。③長崎市で今年10月21日、22日に開催される九州支部主催の西日本技術士研究・業績発表年次大会を成功させる。などが挙げられます。また、会員、会員以外への広報を充実させるためホームページの拡充、会員名簿の毎年発刊(今年度は発刊済み)、役員会の定期開催、およびその内容の会員への公表(ホームページ上での公開)等、県技術士会内外への情報公開を進めてまいります。

以上会長就任にあたっての抱負等を述べましたが、「具体的に動けば、具体的な答えが出る」との考えのもと、今年度は出来るだけ動き回ろうと思えます。

色々不都合な点もあるかと存じますが、改めるべきことは改め、進めるべきところは確実に進め、県技術士会の発展に尽くしたいと思えますので、会員皆様のご協力、ご指導をよろしくお願い致します。

**副会長就任ご挨拶及び長崎県農業土木技術士会の紹介**

**長崎県技術士会副会長 毎熊 元(農業・総合技術管理)**

梅雨の季節になり、大雨が長期にわたり続いています。今年は降雨量も多く、土砂災害が各地で発生して注意が必要なようです。私の家庭菜園も漬物用に植えたばかりの白瓜の苗が大雨に打たれ全滅です。

この度、役員改正において、農業部門から役員をとの要請があり、副会長に推され、お受けすることになりました。微力ですが、山口会長、大橋代表幹事を補佐し、県技術士会の発展に寄与することができればと思っています。

私が技術士に合格したのは、平成17年度で、島原振興局農林部に在職中の58歳の時でした。皆様と異なり遅い県技術士会への入会であり、経験も浅いので、皆様方のご指導を頂きながら、務めて参りたいと思っています。よろしくお願いいたします。

ここで、紙面をお借りして、私が入会しています県農業土木技術士会の紹介をさせていただきます。

1. 名称は長崎県農業土木技術士会、会の設立は平成16年4月で、今年で8年目になります。

2. 設立の背景

- ・県農林部OBで、農業部門(農業土木)の技術士である、福田光博、池松正弘、藤村幹治、大先輩の受験指導、尽力により、当時(平成15年)、農業部門技術士が10名程度に増加したこと。

- ・技術士法の改正により第1次試験合格が第2次試験受験の条件となったことで、平成15年度より前述3名を含む先輩技術士が指導者となり、第1次試験の勉強会を立ち上げ、15年度に15名が合格し、その後

の第1次試験受験希望者が増加したこと。

・加えて、第2次試験への受験意欲が増し、第2次受験者が増加したことなどです。

3. 会の活動等については以下のとおりです。(会則抜粋)

・目的

技術士制度の普及啓発、会員の資質の向上を図り、本県農業農村整備事業の発展に寄与するとともに、会員相互の親睦を深める。

・事業

①会員相互の技術の研鑽、親睦を図る活動

②農業農村整備事業推進及び農業土木技術力向上のための取り組みへの支援。

③九州・沖縄農業土木技術士会、長崎県技術士会との連携活動

会則によると、大まかには以上のような活動となりますが、実際の活動状況は、③の各技術士会との連携活動は当然ですが、現在のところ、技術士による技術士第1次試験、第2次試験への受験支援活動、会員相互の親睦をはかる合格者のお祝いを兼ねた、懇親会等が主な活動状況です。

4. 会員は、県内在住または在勤の技術士(農業土木、農村環境、農村地域計画)及び第1次試験農業部門合格者とし、現在の会員は、県農林部(農業土木職)OB、県農林部(農業土木職)現職、長崎県土地改良事業団体連合会職員等で構成されています。

会員数は、技術士28名(県OB9、県現職16、県土連等3)、修習技術者(第1次合格者)51名の80名程度で、長崎県の農業土木職の現職が140名程度ですので、ある程度高い資格取得率ではないかと考えています。

今後の課題として、技術の研鑽がありますが、小さな組織ではCPDの研修は中々できませんので、今後も、県技術士会の研修を活用して行きたいと思っています。

役員は会長：池松正弘、副会長：山口昭光(県央振興局)、九州担当理事：中村昇、参与：毎熊元、です。

皆、県技術士会の会員ですので、今後ともよろしくお願いします。

## 公益法人日本技術士会九州支部の活動

長崎地区代表幹事 大橋義美

九州支部の活動に当たっては、長崎県技術士会の皆様のご協力をいただき感謝申し上げます。支部の動きなどについて、ご報告いたします。

1. 平成22年度定時総会の開催

平成23年5月19日(土)「平成22年度定時総会」が福岡市にて開催され、甲斐忠義支部長が再選されました。議案は、原案通り可決しました。

2. 日本技術士会の公益法人化について

平成23年3月29日付けで、内閣総理大臣より日本技術士会長宛てに「公益法人」の認可があり、「公益法人日本技術士会」になりました。

今後、現在の本部が統括本部に、九州支部が7月15日付で九州本部になります。長崎地区は長崎支部になりますが長崎の組織については、今後、検討されます。長崎としては九州各支部の動向等を参考に、長崎県技術士会としてのあるべき姿を皆様と協議しながら組織を考えていきたいと考えています。

3. 第17回西日本技術士研究業績発表年次大会

平成23年10月21日(金)～22日(土)に亘って長崎市で初めて開催されます。特に、22日の発表大会は、長崎ブリックホールの国際会議場を会場に行われます。会場が定員一杯となり盛大な大会となり地元長崎での開催が成功しますように、また、21日にはグラバー園を借切り交流会が開催されますので、地元として多くの皆様で迎えたいと思います。皆様のご参加とご支援を宜しくお願いします。

大会に関する広報は、日本技術士会九州支部のHPを見てください。尚、日本技術士会会員のみでなく非会員の方も参加いただけます。申し込みは出来るだけ早めをお願いします。

4. その他

①九州支部発行の「技術士だより・九州」への投稿等について、長崎地区へ依頼が参りますのでその節は執筆のご協力をお願いします。

②佐賀のNPO法人技術フォーラムの「技術懇話会」が例年のとおり、11月に武雄市で開催されます。つきましたは、ご講演のお願いをいたしますので自薦、他薦でご協力をお願いします。

③九州本部主催の技術士論文発表大会が、本年度も開催されます。発表者の資格は問いませんので何方でも応募できます。多くの会員の応募を期待いたします。詳細については時期が来ましたらご案内いたします。

以上

## 機関紙発行担当者より

平成23年度定期総会役員改選により引続き広報担当として仕事をさせていただくことになりました。

会員の皆様から当会の活動・運営への要望・提案等がございましたら遠慮なくメール等でお寄せ下さい。また年4回(1, 4, 7, 10月上旬)発行の機関紙については1ヶ月程度前から編集の準備をしていますが、原稿については自薦・他薦含めて引き続き会員の皆様のご協力をお願いします。

大栄開発(株) 桐原 敏

〒857-1151 佐世保市日宇町2690番地

TEL: 0956-31-9358、FAX: 0956-32-2711

E-mail: s.kirihara@daieikaihatsu.co.jp